

鹿児島県大島郡与論町朝戸における 祝言のあいさつ

町 博光

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：与論島は、鹿児島県奄美群島最南端に位置し、南方28kmに沖縄本島を望むことができる。周囲21.9km、面積20.82km²。一島一町制で、9つの集落からなる。朝戸集落はほぼ島の中央に位置する。
2. 対象地の社会的経済的環境：島の産業は、砂糖きび栽培を中心とした農業と、近海一本釣を主とした水産業が中心である。これに、大島紬の生産や観光収入が加わる。
3. 交通：近年は交通網が整備され、鹿児島・奄美・沖縄などへの航空便・船便が運航されている。
4. 人口：人口総数7,229（男3,440。女3,789）。世帯数2,115。多少の増減はあるものの大正年間以来ほぼ7千人台を維持している。（『1989年版町勢要覧』による。）朝戸集落は、人口567（男268、女299）、世帯数165。
5. 調査年月日：1990年7月30～31日の2日間
6. 教示者：吉田義信 1916年生（75歳）
 吉田ナヘ 1928年生（63歳）
 杉田秀雄 1914年生（77歳）

主として吉田義信氏の教示資料を呈示し、杉田氏の教示資料で補足する。

I. 結納授受のあいさつ

近年まで、正式な仲人を立てて結納（*ae: no:*）をかわすということはなかった。内々に了解をとっておき、仲人役と父親と本人とが直接に貰い受けのお願いにあがった。

その際、*taruggana*（結納祝い）をするのが普通であった。男の側から、*nagado: fu*（長豆腐）、*pi: no:*（干物）、*matj: nu? ju:*（鯛-赤マツ）2尾、*de: kuni*（大根）、*sai*（酒）、*mi: fid: jimai*（炊きこみご飯）を持っていった。女の側では、*mi: fid: jimai*を*tju? e: kwa:*（親戚一同）に配り結納が交わされた

ことを知らせていた。miſidſimai ſitſi (ミシヂマイした)は、「結婚した」の意ともなる。

以下には、お願いにあがった時の父親のあいさつを記す。

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人(新婦の父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。

新婦の家に上るとまず神棚の前に進み、ʔujakami (祖神様)にお祈りをす。その時の口上は、

○hafi kwa:nu ja:nu wunagukwa:ntſa: pujaſi muna hafi kja:bitakutu
mata kwa:nu hattu:ʔe:kutu nige:ſinnja ʔuſagatikja:bitakutu
miſſi:ku mi:ma:butitaba:ri. hafi hagamatſitaba:ri.

こんなに 子供が 家の 娘をば 欲しさして その こうして
来ましたから また 子の こんなですから 願いしに おし上が
て来ましたから 心強く 見守ってください。こうして 拜ませて
ください。〈品位上、盛、古〉

お祈りをすませた後で酒をついで拜む。その後ʔujabintſa: (両親)に、

○o:kaze:kutu. ʔitſaſſi nige:ſimiiitaba:ri. mata wa:tſakati
muro:tſitaba:ri.

どうかですから。どうしても 願いさせてください。また 私たちに
もらわせてください。 〈品位上、盛、古〉

と頼みこむ。

2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ʔuturuſan jagumisan ʔajuſe:ſiga haſſuru mununtſan wunaguſitſi
so:dititabe:kutu miſſi:ku to:tuganaſi.

恐ろしくも 恐れ多くも あるけれども こんな 者をば 女子と
お考えくださるから 心から 尊く加那支(ありがとうございます)。
〈品位上、盛、古〉

3. その時の新婦のあいさつがあれば記してください。

○to:tuganaſi. ʔunige:ſa:bjun.

ありがとうございます。お願いします。 〈品位上、盛、新〉

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○panafikitjakuta: jukaputunu zatai. zomedefo: do:. to: jukaputu
sitjai.

話聞いたら 良かことの あったようだ。おめでとう だよ。良かこ
と してある。 〈品位中、盛、新〉

2. 嫁をもらう家の人、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつを
しますか。

○to:tuganaji. zukagisaman suwa: jurutjan do:. zure:ta: zukagisama
nji. jukatatji jimitan.

ありがとうございます。おかげさまで 心配を 許した よ。あなたたちの お
かげさまで。良か立ち させた。 〈品位上、盛、全〉

Ⅲ. 嫁を出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつ
をしますか。

○jukati ze:bjui. jonji juka tu:rukati wutumutatji zwa:tji.mu:ruji
zijo:jaji joijimititaba:ri.

良かて（お祝い）で ございます。ほんとに 良か 所に 夫持たせ
て おはして。全員で 嬉しくして 祝いさせてください。 〈品位
上、盛、古〉

2. 嫁に出す家の人、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしま
すか。

○to:tuganaji. zure:ta: zukagisamanji zarin migginu nararigisai.
mu:ruji tjurajoijsi tabeggane:ji nige:ja:bjun.

ありがとうございます。あなたがたの おかげさまで あれも 人間
なれそう。全員で 清ら祝いして くださるように 願います。
〈品位上、盛、古〉

Ⅳ. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは（親戚以外）、どのようなあいさ
つをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○jukate:. ma:djin tjurajoi jimiti taba:ri.

良かったですね。一緒に 清ら祝い させてください。 〈品位上、
盛、古〉

1-2. 父親はそれに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○?ukagisaman so:ditaru ?ukagisaman ha:ʃi tʃuraʃoi ʃiraʃjui.

to:tuganaʃi. wa:tʃaneʃrumunun jumikwa: ʔaratʃi joi ʃiraʃjui.

おかげさまで 心配りして下さった おかげさまで こうして 清ら
ら祝い することができます。ありがとうございます。私たちのような
者も 嫁子(を) 得て 祝いすることができます。 (品位上、稀、
古)

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○ma:dʒin ʔiʃo:ʃa ʃimiti taba:ri.

一緒に 嬉しさ させて ください。 (品位上、盛、全)

2-2. 父親はそれに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○?ure:ta: mu:ruga ?ukagiʔe:bjun. to:tuganaʃi. njamakaran jutafan

wassan nara:tʃi kibaratʃi taba:rjo:. nige:ʃa:bjun do:.

あなたがた 全員が(の) おかげさまで。ありがとうございます。
これからも 良いも 悪いも 教えて きぼらせて ください。願
います よ。 (品位上、稀、古)

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

隣り近所の人も、皆、結婚式に招待されているので、結婚式後に、あいさつ
つ回りをする風習はなかった。以下には、ことさらに訪ねて行った時のこと
を想定して実演していただいたものを記す。

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑は
どのようなあいさつをしますか。

○?uʃagaratʃitaba:ri. futabja: ʔure:ta: ?ukagisaman mu:ru tʃuraʃoi

ʃa:bitan. to:tuganaʃi. furikaran tʃuraʔe:tʃikiʃi ʔwa:tʃuti

tʃurakibai ʃimiti ʔiʃo:ʃa pu:raʃa ʔaratʃitabenʃa:ri.

おし上がらせてください。このたびは あなたがたの おかげさまで
すべて 清ら祝い しました。ありがとうございます。これからも
清ら言いつけて 下さって 清らきばい させて 嬉しさ 誇
らしさ あらせてくださいます。 (品位上、稀、古)

2. そのあいさつに応じて、近所の人ほどどのようなあいさつをしますか。

○?aiʃo:. so:djuggane: so:djuggane:. ʔomedeto:godzaimasu. mu:ru

mata tʃurakibaiʃi mata wa:tʃa kindʒunu futum kibaratʃitabenʃa:ri.

あれまあ。望むように 望むように。おめでとうございます。全部

また 清らきばいして また 私たち 近所の ことも きばらして
くださいませ。 〈品位上、稀、古〉

VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男（29歳）に、嫁をもらった60歳台の父親に、結婚式に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

○ ʃonʃi ʔomedeto:godzaimasu. suwa:ʃurutʃi ʔwa:tʃai. tʃurakibai-
ʃimititaba:ri.

ほんとに おめでとうございます。心配を許し なさった。（一安心な
なされた）。清らきばい させてください。

2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ to:tuganaʃi. njamantana maʃtʃuti haʃʃi juka tudʃi ʔbukoti.
tʃura ze:tʃikiʃi mu:ru kibaratʃi juka tudʃi juka wutu natʃi,
taba:ri. to:tuganaʃi.

ありがとうございます。今まで 待っていて こんなに 良か 刀自
授かって。清ら 言いつけ（教え導いて）して 皆 きばらして
良か 刀自 良か 夫 ならして ください。ありがとうございます。
〈品位上、稀、古〉

VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○ ʃune:do: miʃʃi:ku to:tuganaʃi. ʔarigaʃasajabʃui. ʔukagisaʃan
haʃʃi tʃura mi:biki dikja:biti. ʔwa:tʃi taba:tʃaru pitʃuntʃa:n
mu:ru ʔiʃo:ʃaʃi. wa:tʃan mata haʃi mittan ʔiʃo:ʃaʃirarʃui. ʃonʃi
to:tuganaʃi. njamakaram mata mi:ma:buti taba:tʃi munuʔi:tʃikiʃi
taba:ri. nige:ʃa:biran.

この間は ほんとに ありがとうございます。ありがとうございます
ました。おかげさまで こんな 清ら 結婚式 できました。おいで
くださった 人たちも 皆 嬉しさを。私たちも また こうして
たいへん 嬉しさできる。ほんとに ありがとうございます。今か
らも また 見守って くださって 物言いつけして ください。願
いします。 〈品位上、稀、全〉

2. 仲人はそれに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ Fūne:do: jukati?e:bju:tan. ?ure:ta: ?ukagisaman wā:tʃaneʃʃuru
munun ?aʃʃurū jaku mutatʃitaba:tʃi. miʃʃi:ku to:tuganaʃi.

この間は 良かことでした。あなたがたの おかげさまで 私たちの
ような 者も あんな 役 持たせてくださって。ほんとに ありが
とうございます。 (品位上、稀、古)

Ⅷ. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしま
すか。

○ hju:ja ?ujanu ja:kati ?idʒi mitʃai hagadai ʃitʃikja:biran.

今日は 親の 家に行って 見たり 拜んだり してきます。
(品位上、盛、若)

2. それに応じて両親はどのようなあいさつをしますか。

○ to: kibatti ?idʒiku:. ?atʃa ?amma:katin tunaimawaikatin miʃʃi:ku
hagadi ku:jo:. jukkuri hagadi ku:jo:.

ああ きばって 行ってこい。父 母にも 隣り回りにも あつく
拜んで 来い よ。ゆっくり 拜んで こい よ。(品位中、普、古)

○おわりに

与論島の結婚の習俗は、戦前と戦後で著しく異なっている。最近は、結婚
することと同義に使われていた miʃidʒimai (炊きこみご飯) を炊くことも配
ることもない。

○ namo: tābitu mā: jurumūnu.

今は 旅(本土)と まったく 同じこと。

と言われたのが印象深い。

祝いのあいさつことばの中でも、ずいぶん共通語が浸透しつつある。「与
論語で言い表せない所は普通語(=共通語)で、普通語で言い表せない所は
与論語で話すと、たいへんあいさつがうまくなる」と説明してくださったの
が象徴的である。公的な性質をもつ形式的な祝言のあいさつなどが、いちは
やく共通語化の波を受けるのであろう。

[まち ひろみつ・広島大学教育学部]